



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社TBK  
 コード番号 7277 URL <http://www.tbk-jp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 岸 高明  
 (氏名) 倉村 雅彦  
 TEL 042-739-1473

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,011	19.6	166	75.8	575	32.0	342	32.2
2020年3月期第3四半期	38,577	3.9	689	43.5	436	64.6	258	67.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 932百万円 (3,518.0%) 2020年3月期第3四半期 25百万円 (93.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	12.06	
2020年3月期第3四半期	8.85	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	50,065	26,210	51.6	910.80
2020年3月期	48,949	25,449	51.2	884.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,834百万円 2020年3月期 25,086百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		6.00		6.00	12.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	16.2	400	68.3	900	4.7	0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	29,424,635 株	2020年3月期	29,424,635 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,060,486 株	2020年3月期	1,060,751 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	28,363,711 株	2020年3月期3Q	29,239,247 株

- (注) 1. 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2021年3月期3Q 960,275株、2020年3月期961,100株)が含まれております。  
2. 株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。  
(2021年3月期3Q 961,079株、2020年3月期3Q 86,107株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(役員報酬の減額について)

・2020年5月22日に公表しました「減損損失の計上および2020年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の通り、2020年4月から執行役員以上の役員報酬の減額を行ってまいりました。今後につきましても、厳しい経営環境が予想されることから役員報酬の減額を継続して行うこととしましたので、お知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済停滞後、経済活動の再開により個人消費や輸出等に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの関連するトラック製造業界は、新型コロナウイルスの影響などにより、普通トラック（積載量4トン以上）の国内登録台数は、62,268台と前年同期比8.0%の減少となりました。また、アセアン向けを中心とした輸出も、世界経済の停滞などにより低調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、31,011百万円（前年同期比19.6%減）となりました。損益面におきましては、営業利益は166百万円（前年同期比75.8%減）、経常利益は575百万円（前年同期比32.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は342百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本における売上高は19,536百万円（前年同期比20.1%減）、営業利益は68百万円（前年同期比84.5%減）となりました。アジアにおける売上高は11,998百万円（前年同期比16.6%減）、営業利益は421百万円（前年同期比20.0%減）、北米における売上高は1,624百万円（前年同期比30.6%減）、営業損失は193百万円（前年同期は営業損失175百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産については、前年度末比2.3%増の50,065百万円（前連結会計年度末は、48,949百万円）となり1,115百万円増加いたしました。この主な要因は、前年度末に比べ、現金及び預金の増加2,221百万円に、有形固定資産の減少820百万円及び受取手形及び売掛金の減少428百万円を加味したことによるものであります。

## (負債)

負債については、前年度末比1.5%増の23,855百万円（前連結会計年度末は、23,499百万円）となり355百万円増加いたしました。この主な要因は、前年度末に比べ、長期借入金の増加688百万円及び支払手形及び買掛金の増加521百万円に、短期借入金の減少418百万円及び賞与引当金の減少291百万円を加味したことによるものであります。

## (純資産)

純資産については、前年度末比3.0%増の26,210百万円（前連結会計年度末は、25,449百万円）となり760百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加283百万円及び為替換算調整勘定の増加254百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前年度末51.2%から51.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績及び市場動向を踏まえ、業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2021年3月期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,000	0	200	0	0.00
今回修正予想 (B)	43,000	400	900	0	0.00
増 減 額 (B - A)	2,000	400	700	—	—
増 減 率 (%)	4.9%	—	350.0%	—	—

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,919	5,140
受取手形及び売掛金	12,801	12,373
電子記録債権	815	589
たな卸資産	5,106	5,291
未収還付法人税等	149	114
その他	934	736
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	22,717	24,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,069	4,852
機械装置及び運搬具（純額）	10,204	9,569
土地	3,377	3,414
建設仮勘定	1,357	1,398
その他（純額）	1,110	1,062
有形固定資産合計	21,119	20,298
無形固定資産		
ソフトウェア	185	160
のれん	298	232
その他	60	63
無形固定資産合計	544	456
投資その他の資産		
投資有価証券	1,672	2,060
関係会社出資金	1,466	1,664
関係会社長期貸付金	—	51
繰延税金資産	1,253	1,128
その他	192	191
貸倒引当金	△15	△22
投資その他の資産合計	4,568	5,074
固定資産合計	26,232	25,829
資産合計	48,949	50,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,121	4,643
電子記録債務	2,595	2,491
短期借入金	7,320	6,902
リース債務	227	227
未払法人税等	110	66
賞与引当金	590	298
役員賞与引当金	—	17
製品保証引当金	66	68
役員株式給付引当金	10	27
設備関係支払手形	219	243
その他	1,423	1,430
流動負債合計	16,685	16,417
固定負債		
長期借入金	2,304	2,993
リース債務	347	203
繰延税金負債	791	866
退職給付に係る負債	3,153	3,157
その他	216	216
固定負債合計	6,813	7,437
負債合計	23,499	23,855
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,617	4,617
資本剰余金	264	264
利益剰余金	20,561	20,733
自己株式	△466	△466
株主資本合計	24,976	25,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	321
土地再評価差額金	64	64
為替換算調整勘定	396	651
退職給付に係る調整累計額	△390	△352
その他の包括利益累計額合計	109	685
非支配株主持分	363	375
純資産合計	25,449	26,210
負債純資産合計	48,949	50,065

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	38,577	31,011
売上原価	34,407	27,623
売上総利益	4,170	3,387
販売費及び一般管理費	3,481	3,221
営業利益	689	166
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	77	53
持分法による投資利益	107	192
助成金収入	—	297
為替差益	20	9
その他	37	55
営業外収益合計	244	613
営業外費用		
支払利息	171	124
支払手数料	10	60
支払補償費	301	—
その他	14	18
営業外費用合計	498	203
経常利益	436	575
特別利益		
固定資産売却益	5	2
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	9	1
貸倒引当金繰入額	—	6
投資有価証券評価損	—	10
関係会社株式評価損	—	9
特別損失合計	9	28
税金等調整前四半期純利益	432	550
法人税、住民税及び事業税	116	130
過年度法人税等	△26	11
法人税等調整額	61	72
法人税等合計	151	213
四半期純利益	280	336
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	342

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	280	336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	283
為替換算調整勘定	89	269
退職給付に係る調整額	△10	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	4
その他の包括利益合計	△255	596
四半期包括利益	25	932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6	918
非支配株主に係る四半期包括利益	19	14



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(株式給付信託(BBT))

当社は、2019年6月20日開催の第83回定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を含みます。)及び執行役員(以下、取締役とあわせて「取締役等」といいます。)の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役等が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員に関しては、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、また、社外取締役に關しては、当社の経営の健全性と社会的信頼の確保を通じた当社に対する社会的評価の向上を動機付けることを目的とし、業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規則に従って、当社株式が信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託が保有する自社の株式に関する事項

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末429百万円、961千株、当第3四半期連結会計期間末428百万円、960千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

## (セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	合計	調整額(注1)	四半期連結財務諸表計上額(注2)
売上高						
(1)外部顧客への売上高	23,516	12,734	2,326	38,577	—	38,577
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	937	1,651	14	2,603	△2,603	—
計	24,453	14,386	2,341	41,181	△2,603	38,577
セグメント利益又は損失(△)	441	527	△175	793	△103	689

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103百万円には、セグメント間取引消去18百万円と、各セグメントに配分していない全社費用△122百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない役員報酬等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	合計	調整額(注1)	四半期連結財務諸表計上額(注2)
売上高						
(1)外部顧客への売上高	18,756	10,636	1,618	31,011	—	31,011
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	780	1,361	5	2,148	△2,148	—
計	19,536	11,998	1,624	33,159	△2,148	31,011
セグメント利益又は損失(△)	68	421	△193	296	△130	166

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△130百万円には、セグメント間取引消去△29百万円と、各セグメントに配分していない全社費用△100百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない役員報酬等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。